柳川啓一氏文書(2)概要

1:文書群番号	091022
2:文書群名	柳川啓一氏文書(2)
3:出所	柳川啓一家
4:家業・役職等	近世：東新田村庄屋 近代：東新田村戸長／大庄村村会議員／部落総代
5:地名	摂津国武庫郡東新田／兵庫県武庫郡東新田／武庫郡大庄村東新田／尼崎市東／尼崎市東・琴浦町ほか
6:行政区分	幕府領／尼崎藩領／兵庫県第7区／西新田組戸長役場／大庄村／尼崎市
7:歴史	東新田村は、市域南西部に位置しており、集落の南に中国街道が接していた。もとは西新田と一体で、戦国時代に東大島・浜田の南に開発されたものと考えられる。浜田とともに浜田荘の荘域であった。東新田の史料上の初見は慶長10年(1605)。 近世初期には幕府領、元和3年(1617)尼崎藩領となり、明治に至った。村高は慶長10年に285石余、天保5年(1834)に474石余とあり、天保期の石高には寛永14年(1637)に高入れされた新田が含まれている。また、天和・貞享年間(1681～1688)には家数33軒、人数195人、天明8年(1788)には42軒、182人とある(いずれも新田分含む)。水利は大島井組に属した。氏神は琴浦神社(近世には琴浦明神社)。 昭和27年(1952)には西新田にかけての大庄湿地帯が開発されて尼崎競走場(競艇場)が建設され、昭和38年には阪神電鉄の尼崎センタープール前駅が常設駅となった。
8:伝来	平成9年(1997)10月、柳川氏より寄贈。
9:史料入手先	柳川淑子氏
10:点数	1381点（目録件数991件）
11:年代	天和3年(1683)～昭和52年(1977)
12:構造と内容	本文書群は①近世の東新田村関係、②近代の東新田村・大庄村関係、③柳川家の私的文書からなる。①は年貢米・出作米関係、御用銀、免割帳、下屎関係、年季奉公人請状、小作関係、田地等譲渡・質物・金融ほか各種証文類、水利関係などがあり、②は改正地券証書、大庄村土地区画整理関係、浄専寺関係、琴浦会関係、小作関係、借用金証書などである。③は冠婚葬祭関係の帳面類や家政関係の史料がある。
13:関連史料	柳川啓一氏文書(1)
14:閲覧条件	原本
15:作成者	中村由佳

尼崎市立地域研究史料館